

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

担当課：環境安全・防災課

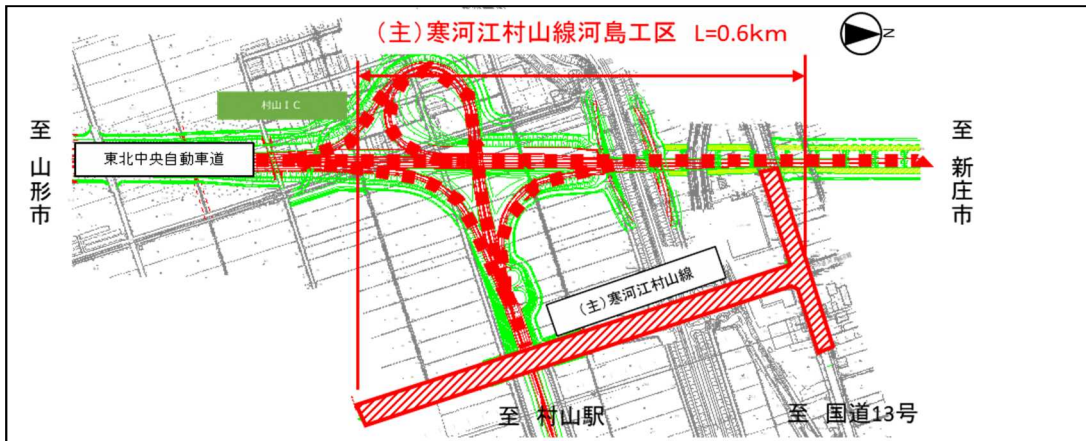
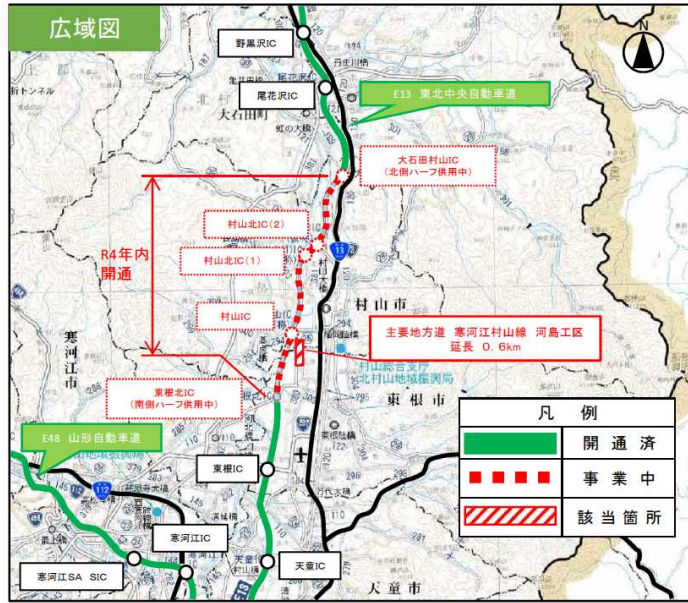
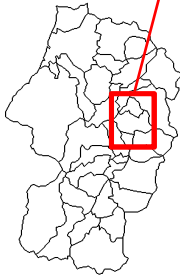
担当課長名：渡辺 学

事業名	高規格 I C アクセス 主要地方道寒河江村山線 村山 I C 河島	事業区分	地方道	事業主体	山形県
起終点	自：山形県村山市河島 至：山形県村山市河島			延長	0.6 km
事業概要					
主要地方道寒河江村山線は、東北中央自動車道と村山市内を結ぶ路線であり、観光振興を目的とし、東北中央道に整備される村山 I C と国道 13 号を結ぶアクセス道路として整備するものである。					
H28年度事業化	都市計画決定なし		H30年度用地着手	H30年度工事着手	
全体事業費	3.6 億円	事業進捗率	約 61%	供用済延長	— km
計画交通量	4,700 台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年 平成28年	
	(残事業)	— / 2.9 億円 事業費：— / 2.4 億円 維持管理費：— / 0.47 億円	— / 4.5 億円 走行時間短縮便益：— / 4.0 億円 走行経費減少便益：— / 0 億円 交通事故減少便益：— / 0.50 億円		
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量 : B/C=1.4~1.7(交通量 ±10%)		(残事業) 交通量 : B/C= — (交通量 ±10%)			
事業費 : B/C=1.4~1.7(事業費 ±10%)		事業費 : B/C= — (事業費 ±10%)			
事業期間 : B/C=1.5~1.6(事業期間 ±20%)		事業期間 : B/C= — (事業期間 ±20%)			
事業の効果等					
○観光支援					
<ul style="list-style-type: none"> ・村山 I C へのアクセス道路整備により、山形空港から観光地への移動時間短縮が図られ、滞在時間の延長などによる観光消費額の増加などに寄与する。 ・東沢バラ公園や最上川三難所そば街道、最上川三難所船下りといった観光地へのアクセスが向上する。 					
関係する地方公共団体等の意見					
<ul style="list-style-type: none"> ・ H22 年 3 月：「第 3 次山形県総合発展計画」策定 ・ H24 年 3 月：「やまがた県土未来図」推進指針改定 ・ H31 年 3 月：「山形県道路中期計画」策定 ・ 上記計画に位置づけられた施策や方針に基づき取り組む事業として推進している。 					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
令和 2 年 2 月に国土交通省が東北中央自動車道（東根北～大石田村山間）の令和 4 年内開通を公表					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率 100%、事業進捗率約 61%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
早期の完成を目指し工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
載荷盛土の流用土使用等により、総コストの縮減に努めていく。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化無く、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図

山形県

事業箇所



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。